

学ぼう！野菜のこと 農業のこと

給食協会では食育の一環として、北九州市の農業や学校給食に対する理解を深めてもらうため、収穫体験を行っています。

今回は6月12日（水）戸畑区一枝小学校5年生41名が、若松区有毛の松浦剛さんの畑で、“じゃがいも”の収穫体験を行いました。



機械掘りも体験できました

今年は、6月の梅雨時期に晴れた日が多く、じゃがいもにとっては好条件！！とても大きくきれいなじゃがいもをたくさん掘ることができました。また、松浦さんが作られているビニールハウスのトマトの栽培や、もうすぐ収穫となるスイートコーンの畑など普段見ることのない野菜の育つ様子を見せていただき、貴重な体験をさせていただきました。

交流会では、松浦さんからじゃがいものでき方についてや「農業の仕事は“臨機応変”この野菜は何が必要か？天候に応じて何をすべきか？を考えて動くことが大切。農業の仕事は大変だけど楽しい」と農業に対する熱い思いを聞かせていただき、子どもたちは農業に大変興味を持った様子でした。



この日は子どもたちの大好きな5色からめあへの献立で、その中に松浦さんのじゃがいもが使われていました。